

## 平成 26 年度 第 7 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 27 年 3 月 2 日（月）9:15～9:25
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題 1 次期「みえ県民カビジョン・行動計画」の策定について

#### ●大橋企画課長（資料 1 に基づき説明）

現行動計画の総括的な検証、次期行動計画の策定にあたっての考え方について、説明する。

主な論点として 4 点。（1）政策体系（施策）の見直しの視点、（2）少子化対策、地方創生、国土強靱化地域計画など横串の視点の政策パッケージと政策体系の関係性、（3）選択・集中プログラムに代わる「重点的な戦略（仮称）」、PDCA 全体としての仕組みのスリム化、（4）目標値の設定が課題と考えている。

なお、次期行動計画と県版の人口ビジョン及び総合戦略の策定スケジュールについては、資料のとおり一体的に策定することとする。

#### ○植田副知事

計画策定にあたって、平成 28 年度当初予算の議論との整合性はどうか。

#### ●大橋企画課長

経営方針の策定や県版総合戦略に関する平成 28 年度以降の交付金のあり方の影響も考えられるので、予算議論としっかり整合性を図っていく。

#### ○西城子ども・家庭局長

総合戦略（第 1 版）の策定が 10 月頃と早い時期を予定しているが、平成 28 年度事業を前倒しで議論することになるのか。従前であれば、行動計画に位置づける重点的な事業の議論は、予算編成が始まる 11 月頃から行われていると思うがどうか。

#### ●大橋企画課長

次期行動計画は 4 年間の計画なので、4 年後を見据えた取組と初年度の取組をあわせて議論していく必要があるので、予算の議論が先走らないよう、公表・非公表の議論を意識しながら、議論していきたい。

●竹内戦略企画部長

県版総合戦略の第1版は、予算上の個別の事業まで議論するものではなく、具体的な事業までは掲載しない。

○石垣副知事

来年度は、現行動計画4年目で、見直しの節目の年であり、それにあわせて県版人口ビジョン及総合戦略を策定する重要な年になり、大変であるが、なるべく負担感のないようにしてほしい。

○鈴木知事

各部局においても、個別計画の改訂にあたる時期であるが、次期行動計画と作業の重複感を回避して、効率的になるよう、特に戦略企画部が留意するようしてほしい。なるべく負担感のないようにしてもらいたい。

見直しにあたっては、全体の仕組みがシンプルになるようしてほしい。節目の年なので、やってみて1年、2年のものであっても、虚心坦懐に見直してほしい。仕事を効率化して、ワーク・ライフ・マネジメントを進める必要があるし、シンプルな仕組みのほうが長続きするし、活用しやすいと考える。